



拓殖実習場③

拓実の酪農経営の基礎となる



丸太を用いて作られた校舎

設立当時は全国から多数の応募があり、拓殖実習場は本道開拓に大いに貢献するものと期待されていました。しかし、戦争が熾烈化するとともにその運営は人不足で苦しくなり、地力の消耗した畑、栄養失調の家畜、荒れ放題の建物、食糧の貯えもなく、水にも事欠くという荒廃した姿で終戦を迎えました。昭和20年に丸太づくりの本庁舎を全焼。その後は残った建物を利用して実習が行われましたが、環境は極度に悪く、また、戦後の混乱期における急激な民主化思潮の影響もあり、実習生が待遇改善と農場自主管理の要求大会を開くなど実習生対教官の間柄が険悪でありました。

同21年に28人、同22年に15人の修了生を送ったところで再建不能とみて廃場とし、同地区を開放して開拓農家を入植させる方針の下に、十勝と天

塩の実習場修了生を同23年入植させ、翌年まで実習場職員が一部残務整理を行ったあと、同24年より国が正式に買い上げて、十勝実習場修了生を集団入植させ、実習場制度に終止符が打たれました。

なお、道では同24年拓殖実習場跡に、開拓部直営の開拓建設隊を設置し、伐木、製材等の事業を須貝亀太郎らを派遣して行っていました。同年からの開拓者の入植により同25年同所を北方開拓生産協同組合として事業継承したものの、須貝の退職等により同27年閉鎖しています。

拓殖実習場のあったこの地は、いま拓実の名をつけて酪農経営が続けられています。

(参照『置戸町史上巻』、『置戸町史下巻』)

※文中人名敬称略)

人事異動

4月1日付の置戸町職員の人事異動等をお知らせします。
() 内は異動前です。

■新採用

- ▷ 町づくり企画課財政係主任 小里純平
- ▷ 地域福祉センター健康推進係 沼岡奈津季
- ▷ 町づくり企画課企画係 天野照央
- ▷ 総務課総務係兼職員係 大垣光夫

■町づくり企画課

- ▷ 町づくり企画課企画係長 和田潤 (町づくり企画課企画係主査)

■総務課

- ▷ 総務課総務係主査 今西美紀子 (町づくり企画課企画係長)

■産業振興課

- ▷ 産業振興課長事務取扱 和田薫副町長

■地域福祉センター

- ▷ 地域福祉センター所長 須貝智晴 (地域福祉センター次長兼高齢者支援係長)
- ▷ 高齢者支援係長 佐藤純子 (地域福祉センター健康推進係長)
- ▷ 健康推進係長 大西里香 (地域福祉センター健康推進係主任)
- ▷ 健康推進係主任 小松由季 (地域福祉センター健康推進係)

■学校教育課

- ▷ 学校給食係主任 長田こず恵 (学校教育課総務係主任兼学校教育係主任兼学校給食係主任)

■農業委員会

- ▷ 農業委員会事務局長事務取扱 和田薫副町長

■退職 (3月31日付)

- ▷ 鈴木正美 (地域福祉センター所長)
- ▷ 坂口博昭 (産業振興課長、農業委員会事務局長)
- ▷ 高木恭治 (総務課主幹)
- ▷ 松田幸子 (町民生活課住民生活係主任)